農業ひろさき

2019年1月1日　（第155号）
（平成31年1月1日）

編集と発行 ： 弘前市農業委員会
弘前市大字上白銀町1-1　前川本館3階　電話0172-40-7104

平成30年度青森県農業委員会大会

11月26日、平成30年度青森農業委員会大会が青森市で開催され県内の農業委員、農地利用最適化推進委員ら約千人が参加しました。



大会では、参加者全員で農業委員会憲章を唱和し、『農業委員会組織・制度をめぐる情勢～「農地利用の最適化」の取り組み強化へ～』を演題とした講演に耳を傾け、活動の重要性と農地利用の最適化の推進に決意を新たにしていました。

議事では、当市の成田繁則農業委員会会長らが議長を務める中、「農地利用の最適化」の取り組みを強化するための政策提案１件と、申し合わせ決議事項３件の議案４件をいずれも満場一致で決議しました。また、今大会で当市の木村司委員が「農政功労農業委員」、当農業委員会が「優良農業委員会」として、ともに青森県農業会議会長賞を受賞しました。


「ガンバロー三唱」をする当市の委員

【決議された政策提案の概要】

1．担い手への農地利用集積施策の改善方策	農地中間管理事業の５年後見直しへの対応／相続未登記農地等への対応
2．農地の確保と有効利用対策	「農地の確保」について国の関与の継続／遊休農地対策／農地の違反転用の防止対策
3．担い手、新規就農対策	農業経営の体質強化と競争力強化／家族農業経営における後継者育成・確保対策の強化／りんご黒星病の蔓延防止と撲滅対策の強化
4．中山間等地域対策	鳥獣被害対策の強化／多面的機能支払交付金の拡充強化
5.「食料・農業・農村政策審議会」を基本とした農業政策の検討	
6．ＴＰＰ等国内対策の強化	
7．突発的な自然災害等への万全な支援と備え	

年頭にあたって



弘前市農業委員会
会長 成田 繁則

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、ＴＰＰ11協定の発効や外国人材の受け入れ拡大など、国内外で農業分野にも関わる大きな動きを見せており、今後への影響が注目されているところであります。

本市農業を顧みますと、りんごでは18年ぶりに注意報が発表されたりんご黒星病への対応や、多数発生した台風への備えなどで、例年にも増して作業と気苦労が多く、米でも当初は平年並みの出来秋が期待されていたものの６月の低温と８月の日照不足の影響により予想を下回るなど、改めて農業の難しさを実感させられる年となりました。続く異常気象に加え、新薬が開発されるまでのりんご黒星病対策の負担など厳しい状況が続くものと考えております。

しかしながら、米の価格自体はおおむね29年産並みとなっており、りんごも被害こそあったものの、生産者の皆様の技術と努力により玉伸びや食味は良く、価格は順調に推移しているところであります。

今年５月には新たな元号に改められます。心機一転して農業に向き合っていただきたいと思います。

当農業委員会も平成28年４月に新体制に移行し、３月31日に任期満了となることから、新たに農業委員・農地利用最適化推進委員の募集も行ったところであります。これまで進めて参りました「農地利用の最適化」に向けた取り組みを礎に、現地調査や人と農地のマッチング、要請活動などを引き続き進めて参ります。本年も、農業・農村の持続的発展のため、皆様方のご理解とご協力をお願い申し上げますとともに、皆様にとりまして良い年でありますよう祈念いたします。

弘前市青年交流会　ナイトビューパーティー ～農業青年とのスイーツな出会い～

夜景と料理を楽しみながら、ステキなひとときを過ごしませんか？



◆**日時**　1月27日（日）
午後6時～9時
◆**場所**　アートホテル弘前シティ（大町一丁目）
12階「スカイバンケット」
◆**内容**　農業青年と一緒に夜景を見ながら、料理を楽しむ交流パーティーです。
◆**対象**　おおむね30歳～50歳の独身男女
（男性は市内に居住する農業青年）
◆**定員**　男女各20名
◆**参加料**　男性：4,500円・女性：2,000円
◆**その他**　男性は、スーツまたはジャケット着用でお越しください。
＜参加女性には、りんごをプレゼントします。＞
◆**申込締切**　1月18日（金）
■**問い合わせ・申込先**
弘前市青年交流会実行委員会事務局
（農業委員会農政係・市役所前川本館3階）
☎４０－７１０４
メール：nougyou@city.hirosaki.lg.jp

地域農業の将来設計図「人・農地プラン」に関する集落座談会の開催について

「人・農地プラン」は、地域の話し合いに基づき、担い手への農地の継承などの地域農業の方向性を定める計画です。

計画は、集落での話し合いにより定期的に見直しを行っており、下記の日程で集落座談会を開催します。今回は、園地や農道の整備などの補助事業について紹介し、図面などを使い農地の集積に向けた具体的な話し合いを行うこととしています。

また、「地域の中心となる経営体」としてプランへの掲載を希望する方や、補助事業の活用を検討している方は、該当する地域の集落座談会への出席をお願いします。

地域名	開催日	時間	会場
東目屋	2月4日(月)	10:00～	東目屋公民館
相馬		13:30～	相馬やすらぎ館
清水	2月5日(火)	10:00～	清水公民館
千年		13:30～	千年公民館
岩木	2月6日(水)	10:00～	中央公民館岩木館
藤代・船沢・高杉		13:30～	高杉ふれあいセンター
石川	2月7日(木)	10:00～	石川公民館
旧市・和徳・豊田・堀越		13:30～	総合学習センター
新和	2月8日(金)	10:00～	新和公民館
裾野		13:30～	裾野公民館

※事前の申し込みは不要です。
■**問い合わせ先**　農業政策課農業振興係（市役所前川本館3階）
☎４０－０７６７

近年続く異常気象に備えて【りんご共済】31年産加入申込み受付中！

加入プラン	総合短縮方式	特定危険方式（被害限定補償）
補償期間	4月発芽期から11月収穫期までの災害に対応（冬期間の災害を除く）	
対象となる災害	自然災害（水害含む）、鳥獣害など	風害、ひょう害、凍霜害
対象となる被害割合	畑ならし計算型（すべての畑での減収量で計算）は3割以上、畑ごと計算型（畑ごとの減収量で計算）は4割以上の被害から共済金が支払われます。	畑ならし計算型は2割以上、畑ごと計算型は3割以上の被害から共済金が支払われます。
農家負担額（ふじの場合）	畑ならし計算型は1箱およそ94円 畑ごと計算型は1箱およそ68円	畑ならし計算型は1箱およそ50円～78円 畑ごと計算型は1箱およそ39円～59円
	※平成31年産は掛金率改定予定ですので、農家負担額は多少変動することがあります。	
補償額（ふじの場合）	畑ならし計算型は最高でおよそ1箱2,660円 畑ごと計算型は最高でおよそ1箱2,280円	畑ならし計算型は最高でおよそ1箱3,040円 畑ごと計算型は最高でおよそ1箱2,660円
	※品種によって異なります。	

○弘前市による農家負担額（賦課金を除く）の一部の助成を予定しています。
○国が掛金の半分をあらかじめ負担！○防風ネット・防霜ファンがあればさらに割引！
★加入を検討している方や内容を詳しく知りたい方は、下記までお問い合わせください。

安心のネットワーク NOSAI

■**申込締切**　平成31年3月25日（月）　■**問い合わせ先**　ひろさき広域農業共済組合果樹課　☎２８－５７００

「弘前市りんご公園ウィンターフェスティバル」開催

◆**日時**　1月26日（土）・27日（日）午前10時～午後3時
◆**場所**　市りんご公園（清水富田字寺沢）
◆**参加料**　無　料
◆**内容**　そり滑り、絵本読み聞かせ、津軽昔語り、雪上レク、雪上プチＳＡＳＵＫＥ、雪上障害物競走などを予定。



■**問い合わせ先**　弘前市りんご公園（担当：齋藤）　☎３６－７４３９

農業者年金～お問い合わせは農業委員会事務局もしくはお近くの農協で！

しっかり積み立て、がっちりサポート　安心で豊かな老後を

「初心者向け」りんご研修会（せん定編）を開催します！

市では、初心者向けのりんごせん定研修会を下記のとおり開催します。

◆**日時**　1月26日（土）午前10時～（約1時間30分）
◆**集合場所**　市りんご公園「りんごの家2階研修室」
◆**内容**　初心者向けのせん定研修会（実技研修）
◆**講師**　青森県りんご協会職員
◆**対象者**　市内在住のせん定に関心のある方、弘前市で就農を希望する方
◆**定員**　30名（申込先着順、定員になり次第募集終了）
◆**持ち物**　防寒着、防寒長靴、せん定道具（所有者のみ）
◆**参加料**　無料
◆**申込方法**　1月23日（水）までに青森県りんご協会に申込みください。
※荒天の場合は、翌週2月2日（土）に順延。
■**問い合わせ・申込先**　公益財団法人 青森県りんご協会
☎２７－６００６

りんご産業イノベーションセミナー ～りんご産業におけるスマート農業の可能性～

労働力不足が深刻化する中で期待されるスマート農業（ロボット技術や情報通信技術（ＩＣＴ）を活用して、省力化・精密化や高品質生産が期待されるもの）に関する現状と展望を共有するセミナーとアシストスーツなどを装着できるスマート農業展示会を開催します。

◆**日時**　2月4日（月）午後1時～4時30分
◆**場所**　岩木文化センターあそべーる（賀田1丁目）
◆**講演【午後2時～】**
1）**スマート農業の実現に向けて**（農林水産省大臣官房政策課技術政策室課長補佐（技術企画班担当）角張徹氏）
2）**果樹の産地力と個別経営強化に資するスマート農業**（農業データ連携基盤協議会 普及戦略担当ディレクター 末澤克彦氏）
3）**データ活用・連携で見えてくる農業の未来**（慶應義塾大学環境情報学部教授、内閣官房 副政府ＣＩＯ / 情報通信技術（ＩＴ）総合戦略室長代理、国立研究開発法人農業・食料技術総合研究機構農業情報連携統括監 神成淳司氏）
◆**スマート農業展示会【午後1時～】**
展示内容：アシストスーツほか
◆**参加料**　無料
◆**申込方法**　2月1日（金）までに、電話かファクスまたはＥメール（氏名、居住市町村、所属（勤務先など）、電話番号を記入）で申し込みください。
■**問い合わせ・申込先**
企画課産業イノベーション担当（市役所前川本館2階）
☎４０－０６３１　FAX３５―７９５６
メール：kikaku@city.hirosaki.lg.jp

りんご園等改植事業（平成31年春・秋植え分）

市では、りんごや特産果樹の改植事業（平成31年春・秋植え分）の実施受付を行います。補助事業の活用をお考えの方は下記期間内にお申し込みください。

◆**補助対象者**　果樹栽培農家または農地所有適格法人
※丸葉は60歳未満（平成32年3月末時点）の方に限ります。
◆**事業内容**
①りんご…わい化・丸葉への新植・改植に要する経費
②特産果樹（ぶどう、もも、おうとう、なしほか）…新植・改植に要する経費
③事業実施後の未収益期間（4年間分）の園地管理費用に対する補助
◆**採択基準**
植栽面積が地続きで2㌃以上かつ新植・改植であること。
※補植（植栽する木と残す木が交互に並ぶ）は対象外です。
◆植栽間隔
①りんご（わい化）：列間4～6㍍、樹間2～3㍍
②りんご（丸葉）：列間・樹間ともに6～9㍍
③特産果樹：種類ごとに異なりますので、お問い合わせください。
◆**植栽面積の算定方法**　列間距離×樹間距離×植栽本数
◆**補助対象経費**　苗木購入費、資材購入費、植栽関連費、支柱購入費など
※補助対象経費となる苗木などを、市外に本店を有する業者から購入する場合は「理由書」の提出が必要となります。
◆**補助額**
〇新植・改植部分
①りんご（わい化）…補助対象経費の実費、もしくは定額（10㌃あたり16万円）のいずれか少ない額以内の額
②りんご（丸葉）・特産果樹：補助対象経費の実費、もしくは定額（10㌃あたり8万円）のいずれか少ない額以内の額
〇未収益部分…定額（10㌃あたり10万円）以内の額
※この金額は4年間分であり、一括交付します。
◆**申込期間**
2月1日（金）～2月14日（木）
※園地の所在地（番地まで）・面積、品種・本数・植栽間隔、改植の場合は伐採品種・本数をお知らせください。
※植栽予定図をお持ちください。
■**問い合わせ先**　りんご課生産振興係（市役所前川本館3階）
☎４０－７１０５
※今後、内容が変更になる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

農業情報は、市のホームページからも！

市のホームページには、各種農業情報や新着情報を掲載しています。ぜひご活用ください。



◆**農業情報検索方法**
弘前市ホームページ内の
「トップ」→「働く産業」→「農業情報」

青色申告を始めましょう！～税務署の申請期限は3月15日です！～

平成31年からいよいよ収入保険制度がスタートしました。

収入保険は、品目の枠にとらわれず、自然災害による収量減少だけでなく、価格低下など含めた収入減少を補填する保険です。

収入保険に加入するには、青色申告の実績が少なくとも1年分必要です。青色申告は、収入保険に入れるだけでなく、節税や経営の客観的な把握のための重要なツールです。

今年こそ青色申告を始めて自身の経営力をアップさせましょう！



・新たに青色申告を始めるためには、個人の場合、3月15日までに、税務署に「所得税の青色申告承認申請書」を提出する必要があります。

・今年から青色申告を始めれば、2021年から収入保険に加入することができます。

「青色申告」の勉強会を開催します！

今年こそは青色申告に取り組みたいと考えている方に、簡易な記帳方式を中心に、青色申告のポイントについて学べる研修会を開催します。ぜひご参加ください。



◇「収入保険の入り口！青色申告研修会」◇

◆**日時**　2月8日（金）午後1時～午後4時

◆**場所**　弘前市民会館「1階大会議室」

◆**内容**　①「収入保険制度について」収入保険のポイントの解説／②「青色申告の基礎と実践」初心者向け青色申告のポイントなど　※電卓、筆記用具を持参下さい。

◆**参加料**　無料（50名程度）

◆**対象**　市内農業者

■**問い合わせ・申込先**　2月1日（金）までに、電話で弘前市担い手育成総合支援協議会（農業政策課農業振興係、市役所前川本館3階）まで　☎40－0767

農地流動化情報

申出区分	整理番号	農地の所在	現況地目	利用状況	面積	希望価格	備考
売りたい	908	百沢字東岩木山 273	畑	休耕	30.38a	交渉次第	
	910	中別所字別所森 166	田	休耕	1.53a	無償	無償で貸借も可
	911	兼平字林元林添 162－43	畑	休耕	30.88a	交渉次第	貸借も可 10a当たり4,000円～
	914	如来瀬字山田 18－2	田	休耕	0.90a	交渉次第	貸借も可
	917	石川字泉ケ平2－1	畑	休耕	11.08a	交渉次第	貸借も可 10a当たり0～6,000円
	919	高杉字尾上山326	畑	休耕	42.86a	交渉次第	貸借も可 10a当たり4,200円
	923	大沢字戸谷1－63	畑	休耕	49.52a	交渉次第	貸借も可
	926	石川字手代平 1－27	畑	休耕	18.51a	交渉次第	貸借も可
	927	十腰内字野中170	田	休耕	0.93a	交渉次第	貸借も可
貸したい	909	百沢字東岩木山 218－1	畑	休耕	39.41a	交渉次第	
	928	大沢字村中4－2 外1筆	畑	休耕	5.83a	交渉次第	

このほかの情報もありますのでお問い合わせください。

■取扱窓口及び問い合わせ先

①農業委員会農地係（市役所前川本館3階）☎40－7104

②農業委員会岩木分室（岩木庁舎1階）☎82－3111内線611

③農業委員会相馬分室（相馬庁舎1階）☎84－2111内線805



《編集委員会議の様子》

「農業ひろさき」に掲載する広告募集

市農業委員会では、民間事業者の事業活動を推進するため、「農業ひろさき」に掲載する有料広告を募集しています。掲載できる広告は、広報紙の性格上、いくつかの条件がありますので、詳しくは市ホームページでご確認ください。

◆**掲載位置**　最終面の下方

◆**1回の掲載料（いずれも白黒）**

・第1号　縦45㍉×横84㍉以内　8,000円

・第2号　縦90㍉×横84㍉以内　16,000円

・第3号　縦42㍉×横180㍉以内　16,000円

◆**申込期限**　掲載を希望する号の50日前

◆**検索方法**（市ホームページ）

「トップ」→「有料広告募集案内」→「農業ひろさき」

■**問い合わせ先**　農業委員会農政係（市役所前川本館3階）☎40－7104



謹賀新年



今年も充実した紙面づくりを心がけます。
ご愛読のほどよろしくお願いします。

相馬司幸編集委員長（前列中央）、三上悦治編集副委員長（前列右）、佐藤剛郎編集委員（前列左）
（後列左から）進藤司編集委員、三上幸雄編集委員、小林政貴編集委員、櫻庭潤編集委員